

2019年度 夙川中学校入学試験

国 語

第 1 回

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、
受験番号と氏名を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 字数制限のある問題については、記号、句読点も1字と数えること。
4. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

学校法人 須磨学園 夙川中学校

【一】 次の会話文を読んで、後の問いに答えなさい。

登場人物

- ・【横尾】 横尾忠則。一九三六年生まれ。美術家。
- ・【細野】 細野晴臣。一九四七年生まれ。音楽家。
- ・【糸井】 糸井重里。一九四八年生まれ。

【細野】 ^{注1} ミュージシャンも同じですよ。初期のころはコピー、模写ですから。あこがれて、真似するわけですよ。それが高じて自分の音楽をつくり出す。^{注2} プロセスは全く同じですよ。

【糸井】 ミュージシャンにならずに、聞き手だけで終わっていく人と……。分かりますよね。そこは何なんですかね。

【細野】 皆さんの中に天才がいっぱいいると僕は思うんです。ただ、残念ながら表現ができない。表現の手段を勉強してないから。やはりこれは勉強です。好きなことを自分で表現して、ああだこうだと。自分の中に目があって、自分の中の耳に聞かせるわけですよ。自分が判断して、^ア もつともつともつと思うわけです。そういう鍛錬^{たんれん}がないと、表現は身につかない。

【糸井】 ^イ 楽しいからやっているわけですね、それは。

【細野】 そう。好きじゃないと続かないですね。

【横尾】 細野さんを見ると、自分の音楽で世界を変革してやろうとか全然感じないですよ。

【細野】 全然社会のこと考えないです。

【横尾】 だから細野さんの話を聞いていて、子供っぽさを感じるわけよ。それは僕自身も……。

【細野】 それは横尾さんを見ていても、そう思う。

【糸井】 近いよ^ウ (笑)。二人は近いです。そして、僕は「近いですよ」って言う立場にいるんですよ、いつも。そっちの遊び方は楽しいなって思っているし、自分の中にもその要素はある。同時に、^エ 「この子たちのお砂場をどうしよう」って思うのが僕の仕事。

【細野】 昔からそうですよ。糸井さんはね、みんなの親ですよ。

【糸井】 本当は泥だらけになって遊んでいるっていうのがいいのに。

【細野】 一緒に遊んでいる姿も知っています。

(「ぼくらは「飛び出した」方が生きやすかった」による)

注1 ミュージシャン …… 音楽家。

注2 プロセス …… 過程。

注3 鍛錬 …… 訓練を積んで技能をみがくこと。

問一 「もつともつともつと思う」(——線部ア)とありますが、どう「思う」のですか。その内容の説明として、最も適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 良い音楽を作りたい
- 2 勉強しなければならぬ
- 3 天才がいる
- 4 正確に判断したい

問二 「楽しいからやっているわけですね、それは」(——線部イ)という発言の意図についての説明として、最も適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 音楽家の仕事に前向きなかを明らかにする。
- 2 音楽の勉強が辛いことばかりではないと確認する。
- 3 楽しく勉強できるからこそ一流なのだを認識する。
- 4 音楽の勉強では楽しいことが多いことを印象づける。

問三 「(笑)」(——線部ウ)とありますが、文脈上、なぜ糸井氏は笑ったのだと考えられますか。その理由の説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 新しい発見ができたから。
- 2 お互い^{たが}似た者同士だから。
- 3 言い合いをするほど幼いから。
- 4 お互いの距離^{きょり}が近づいたから。

問四 「この子たちのお砂場をどうしよう」って思うのが僕の仕事」(——線部エ)とありますが、この表現から考えられるのはどういう仕事ですか。その説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 未来のための自然保護の仕事。
- 2 作品で人々を感動させる仕事。
- 3 子どもたちの遊び場を探す仕事。
- 4 新たな才能を世に送り出す仕事。

二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

私たちは完全には分かりあえない。それはあたりまえのことだ。他人の言うことがすべて完璧に分かるなどということがあるはずはないし、私の言うことがすべて完璧に他人に伝わるということもない。だから、「どうして分かりあえないのだろう」と嘆く必要はない。「誰とでもどんなことでも分かりあえる」というのは幻想にすぎない。そしてその幻想は、分かりあえない相手を切りス^アてる力として働きかねない危険な幻想でもある。

だが、「どうせ分かりあえないのだから」と諦めてしまい、最初から分かることも分かってもらおうともしないのは、も^イつと危険である。完全には分かりあえないということはなるほどあたりまえだ。しかしそうだとすれば、不完全ながら分かりあえるということも、あたりまえのことなのだ。私たちは、完全にではないけれども、分かりあえる。分かりあえないことをネガティブに捉^{とら}えるのではなく、少しでも分かりあえたことを喜ばなくてはいけない。

「分かりあう」ということは二つのことから成っている。理解することと、納得すること。それぞれ、私から相手へと相手から私へと二つの方向があるから、合計四つと言うべきかもしれない。――私が相手の言うことを理解する、相手が私の言うことを
① する、私が相手の言うことに
② する、相手が私の言うことに納得する。
③ するためには
④ しなければならぬ。しかし、
⑤ できたからといって
⑥ できるとはかぎらない。言っていることの意味は
⑦ するが、同意はできないということも、ごくふつうにあるだろう。

理解しあうことも難しいが、納得しあうことはもつと難しい。また、みんなが完全に納得しあうことがノゾ^ぼましいというわけでもない。全員がどんなことについても同じ考えに同意するなどという方がよほどおかしいのであって、さまざまな考えがあるというのはケンゼン^{けんぜん}なことである。だがこれも、「考えは人それぞれ」でおしまいにするわけにはいかない。合意^{ごうい}を形成しなければ一緒に何ごとかを為^なすことができない場合も多い。考えの多様性^{たさうせい}を尊重しながら、なお歩み寄る努力が求められる。さらに、「考えは人それぞれ」で終わらせてしま^まうと、自分の考えを深めることも、改善することもできない。また、新しい考えに気づかされるとい^いこともなくなってしまう。だから、難しいことではあるけれども、自分の考えに納得してくれない他人やあなたが納得できない意見を言う他人が現れたとき、そこでお互いを切り離^{はな}してしまうので

はなく、納得しあおうと努力しなければいけない。そして、少しでも納得しあえる方向に進んだならば、それはとても喜ばしいことだ。

(野矢茂樹『大人のための国語ゼミ』による)

注1 ネガティブ：否定的。消極的。

注2 多様性：……いろいろなものがあるという性質。

二の設問

問一 「二どうして分かりあえないのだろう」と嘆く」――

線部ア)とありますが、本文によれば、「嘆く」気持ちが生まれる背景とは、いったいどういうものだと考えられますか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 全員と心から分かりあえるという思い込み。
- 2 お互いの言葉が伝わらないという難しさ。
- 3 人間はお互いに分かりあえないという考え。
- 4 自分のすべてを表しきれない言葉の不自由さ。

問二 筆者が「もっと危険である」(――線部イ)と考える

内容は、どうすることと比べてですか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 話し相手を見捨てること。
- 2 分かりあうことを諦めること。
- 3 危険な幻想をもつこと。
- 4 徹底的に分かりあおうとすること。

問三 「あたりまえのことなのだ」(――線部ウ)とは、ど

ういうことを言おうとしているのですか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 不完全でも私たちが分かりあえることがあるのは、あたりまえの話であるということ。
- 2 部分的にでも分かりあえる可能性があることを強く意識する必要があるということ。
- 3 私たちは不完全にしか分かりあえないことを知らないのは常識に欠けるということ。
- 4 不完全であっても私たちが分かりあえることを、喜ばなくてはならないということ。

問四 ① ～ ⑦ には、「理解」か「納得」が入りま

す。「理解」が入ると考えられる場合は「1」と、「納得」が入ると考えられる場合は「2」と答えなさい。

問五 「同意」(――線部X)と「合意」(――線部Y)の違

いについて、六〇字以内で説明しなさい。

問六 「納得しあおうと努力しなければいけない」(――線

部エ)とありますが、それはなぜですか。その理由の説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自分の考えに反対の他人を切り離して考えると、人間的に成長することができなくなってしまうから。
- 2 自分と異なる考えや意見に無関心だと、自分の考えをより良くできず、新しい発見も生まれにくいから。
- 3 自分と異なる意見に歩み寄ろうとすることで、さまざまな考えが生まれる多様性を尊重すべきだから。
- 4 自分と異なる他人と一緒に物事に取り組んでゆく上では、納得しあう努力しなければならないから。

問七 線部のカタカナを漢字で答えなさい。

- a ス(てる) b ノゾ(ましい) c ケンゼン

三 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

おはよう、みなさん。

よいお天気ですね。出欠をとる前に、きょうはまず花の話
をします。

目にとめたひともしいるかもしれませんが、校舎の玄関を入
ったところに今朝はちよつと変わった花が活けてありました。
ひよろつと細長い茎の先に赤い花が咲いています。花はまる
で野莓の实のようです。気づきましたか？

細長い茎の伸びかたは様々です。奇妙な曲線を描いた茎や、
すうつと斜めにかしいだ茎や、針金みたいに折れ曲がった茎
もあります。花の数だけ様々です。それを見て、わたしはま
とまりのないこのクラスを連想しました。

前から言うように、協調性に欠けるという点で、このクラ
スはわたしが担任した中でも史上最悪です。いまだに文化祭
の出し物さえ決まっています。思うに、みなさんは今朝の
玄関の花のようです。茎の曲がり具合が、曲がった茎のせい
ででんでんばらばらな花の向きが、ひとりひとりを表してい
ます。最悪ですね。

でも、それをいまずぐに直せとは言いません。実はそれが
みなさんの現在の価値でもあるからです。そのうち曲がった
茎は矯正されるときが来ます。やがて見分けもつかなくなり
ます。よほど気をつけないと、花は揃って同じほうを向き、
みんな同じ表情になります。

憶えておいてください。あの花の、茎の曲がり具合、それ
がいまのみなさんです。良くも悪くもみなさんの姿です。立
場上、文化祭の出し物は一日も早く決めてもらわないと困り
ますが、でも、あの花がいまの自分だということはできるだ
け長く憶えておいてください。

では、出欠をとります。

(佐藤正午「ホームルーム」による)

三の設問

問一

~~~~線部 a c の本文中における意味として最も適当なものを、後からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- a** かしいだ
- 1** 割れた                    **2** 咲いた
- 3** 傾いた かたむ                **4** 伸びた
- b** てんでん
- 1** それぞれ                **2** まったく
- 3** なるほど                **4** まばらに
- c** 矯正
- 1** ねじまげる                **2** 温かく伸ばす
- 3** 引っ張り抜く              **4** 欠点を直す

#### 問二

「気づきましたか？」(——線部ア)とありますが、何にですか。その内容として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1** 校舎の玄関入口に、赤い花が活けてあったこと。
- 2** 玄関に活けられた花がいつもと違っていたこと。
- 3** 細長い茎の先に、赤い花が咲いていたこと。
- 4** 花の赤さが、野苺の実のようであったこと。

#### 問三

「このクラスを連想しました」(——線部イ)とありますが、それはなぜですか。その理由の説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1** 花の数だけそれぞれの茎の形があるように、クラスにも何人もの生徒がいると想像したから。
- 2** まとまりなく茎の伸び放題になった花に、クラスのまとまりのなさが思わず連想されたから。
- 3** まっすぐに茎の伸びていない花が、素直すなおではないがままな生徒たちと同じだと思ったから。
- 4** クラスの生徒たちが、さまざまに茎を伸ばした花と同じ、それぞれ魅力的みりよくな存在だったから。

#### 問四

「いまだに文化祭の出し物さえ決まっています」(——線部ウ)とありますが、それはなぜだと考えられますか。その理由の説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1** 性格の曲がって協調性に欠ける、史上最悪のクラスだから。
- 2** 生徒の興味がばらばらで、文化祭に関心が集まらないから。
- 3** 自分の意見ばかり主張して、級友の意見に賛同しないから。
- 4** 文化祭の出し物を決める際にも、全員が必死に考えるから。

#### 問五

「やがて見分けもつかなくなりませす」(——線部エ)とは、どういうことを意味していますか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1** 周囲から指導されることで、生徒の個性が失われるということ。
- 2** やがて誰もが同じような正しい行動をするようになるということ。
- 3** 曲がった茎を矯正すると、同じような花ばかりが育つということ。
- 4** 失敗をくり返かえしつつ、どの子どもも立派な大人になるということ。

#### 問六

「でも、あの花がいまの自分だということではできるだけ長く憶えておいてください」(——線部オ)を通して、担任の先生は、クラスの生徒たちにどういうことを言ううとしているのだと考えられますか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1** 身近な花にも個性があることを長く記憶きおくしてください。
- 2** 人間には誰もが欠点があることを忘れないでください。
- 3** クラスで話し合っつて、すばらしい文化祭にしましょう。
- 4** 自分の個性を大切に、できるだけ忘れないでください。

#### 問七

「史上最悪です」「最悪ですな」(——線部 X・Y)という発言は、「最悪である」という事実だけを伝えたいものではありません。なぜそう考えられるのか、本文にどう書かれているかをふまえ、三〇字以内で説明しなさい。

